

登録コード	HM108900	開講年度	2026				
授業題目	免疫・微生物学論文演習					担当教員	小嶋 克彦 他
英文授業名	Thesis Seminar in Microbiology and Immunology					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	医学系専攻 博士1～4年
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					専門研究領域の動向を自ら把握、理解し説明できる能力を身につける。	
(2)詳細/Detailed information	専門研究領域の動向を自ら把握、理解し説明できる能力を身につけることを目的とする。また、関連する学術論文を批判的に検討し、自身の研究テーマとの関連性を明確化する力も養う。研究動向を踏まえた上で、研究者として必要な論理的思考力や発信力を確立することを目指す。						
(3)授業の概要/Overview of course	データベースを用いて優れた科学論文を検索、選定する能力を習得する。また、微生物学、免疫学に関する学術論文を読み、その内容を第三者にプレゼンテーションできる能力を身につける。						
(4)授業計画/Course plan	学生または教員の各回ひとりが担当となり、インターネットにより検索して学術論文を選定する。発表する内容はパワーポイントでまとめる。発表は単なる英文和訳とならないよう、研究の背景や重要性、研究手法や結果解釈の妥当性についての考察を含めること。その他の参加者全員にも同様の視点が必要であり、積極的な議論が求められる。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	発表者においては内容の理解や発表技術について、その他の者では討議参加への積極性について評価を行う。 評価は、「その問題の背景を説明できているか」、「その問題にどのような課題があるのかを指摘できているか」、「それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できているか」等の基準から行い、その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。以下、要件を満たす毎に「かなり上にある（優）」、「やや上にある（良）」、「水準にある(可)」の順で判定する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	セミナー内での議論では積極的な意見を出す態度を心がけること。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	担当教員が対応する。						
(8)授業の形式/Course format	担当となった学生、教員が学術論文を選定しセミナー形式でプレゼンテーションを行う。						